

北日野分団長 伊藤 正之

私自身、北日野分団に入団してから3度目の操法大会。選手の皆様は、4月19日から自主訓練に入り、5月30日から本訓練と、数か月間色々ありましたが、サポートしてくれる団員の皆と早朝より頑張ってきました。残念ながら、大会は入賞できませんでしたが、分団員全員が一丸となり、入賞に向けて強い団結力の強化を感じることのできた貴重な大会になりました。山本・出口両指導員、消防職員の皆様、多くの消防団員、関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

指揮者 山口 修弘

入賞は果たせませんでした。訓練成果を遺憾なく発揮できたので、このチームで出場できた事に大変満足しています。それもサポートしてくださった、山本・出口両指導員、分団員、そして家族のおかげだと思います。これからは大会で得た経験、知識、技術を活かし越前市を守る一員として頑張ります。本当にありがとうございました。

2番員 前田 正昭

2番員は大変だと聞いていましたが、普段から走っているし軽い気持ちで引き受けました。いざ訓練が始まると、脚、お尻、腰、背中と次々痛めてボロボロでした。全く走れない日もあり、指導員の2人はヒヤヒヤだったと思います。早朝から応援に来てくれた北日野分団の皆様と、熱心に指導してくれた指導員の2人に恩返しできるような結果を残したかったけれど、結果は残念なものになってしまいました。ですが、訓練通りの結果は出せたと満足しています。応援に来てくれた全ての方々、山本・出口両指導員、そして一緒に頑張った選手の皆に感謝！

4番員 伊藤 友滋

自主訓練から始まり大会までの練習準備、指導していただいた指導員、署員、団員の皆様に感謝しています。大会本番では、練習には無いプレッシャーで、動き一つ一つ考えている余裕はありませんでした。でも、今までしてきた練習のおかげで、体が勝手に動いてくれる感じでした。「もっとできたかな？」という気持ちもありますが、今自分達にできることはやり切ったと思います。途中メンバー交代というアクシデントもありましたが、7人で意見を出し合い改善していきました。このメンバーで操法大会に出場できて良かったです。思い出になる良い経験をさせていただきました。

補助員 山田 元

操法大会に出場依頼が分団長からあり、会社と家族の了解を得て、受けさせていただきました。4月下旬から練習が始まり、山本・出口両指導員や団員のご指導のおかげで少しずつ形になってきました。7月に入り、これだけ練習しているので良い成績も夢ではないと思うようになり、力が入りました。大会当日の朝の訓練では、これまで通りにしっかりできており、いざ大会に臨みました。本番でも順位はともかく本当に上手くいきました。ただ、他の分団の方々も練習の成果を出し、素晴らしい操法でした。正直言って朝起きや練習はきつかったけど、最後まで続けられたのは、良い仲間のおかげだと思っています。大会に関わった皆様、ありがとうございました。

第72回福井県消防操法大会

大会を終えて 北日野分団



1番員 林 隆則

最初に話をもらった時は自分に務まるか不安でしたが、訓練が始まり指導員のご指導のもと、徐々に形になってきました。結果は思うようなものではありませんでしたが、自分なりにこの仲間と精一杯やりきったと思います。指導していただいた、山本・出口両指導員、分団長をはじめ団員の皆さんの応援、ご指導のおかげで最後までやり通す事ができたと思います。本当にありがとうございました。

3番員 加藤 一郎

急遽、分団長から出てほしいと言われ、思わず「48歳やで?!」と言いながらも、すでに練習しているメンバーが、47歳、46歳！断る理由もなく、「わかりました」と。本訓練から始まり、皆さんに追いつかないといけないと思い、焦る日々が続きました。左足からと言われても右、指は曲げるなどと言われても曲がってる。でも、山本・出口両指導員、北日野分団員、南越消防組合の職員の皆様が根気強く指導してくれたおかげで、何となく格好になってきましたが、現実には甘くなく結果は付いてきませんでした。すみません。



No.59 秋涼号

越前市 消防団

ECHIZEN-SHI
SYOUBOU-DAN

発行 越前市消防団

編集 活性化推進委員会広報部

県操法大会 酷暑の中開催

ポンプ車操法の部 北日野分団健闘！



北日野分団広報 山口

の成果を発揮し、素晴らしい操法を展開されていきました。ポンプ車操法の部に参加した北日野分団も練習の成果を十分に発揮しましたが、残念ながら目標の入賞には至りませんでした。
この大会を通して、北日野分団が得られた貴重な経験や技術、また結束という力を活かし、今後の地域消防・防災の活性化につなげていきたいと思えます。

7月22日(土)福井県消防学校において、第72回福井県消防操法大会が開催されました。本大会のポンプ車操法の部に南越消防組合からは、越前市消防団北日野分団が出場しました。
本大会に向け、選手は4月19日から自主訓練、5月30日から本訓練と、約3ヶ月間一生懸命行ってきました。梅雨時期ということもあり、雨の日や蒸し暑い中で本当に大変だったと思います。
大会当日は、熱中症警戒アラートが発令される程の酷暑の中、県内各消防組合代表の分団が、動きの節度や規律、タイムを競い、それぞれの練習



【写真】上・中…大会で操法を披露する北日野分団の選手
下…会場で応援する管理者と南越消防組合関係者

火災要注意

今年に入り、組合管内では火災が多発しています。
9月10日現在、26件の火災が発生し、すでに昨年1年間の件数を上回っています。また、火災により尊い命が奪われています。
蚊取り線香、古い電化製品、ケーブルタップ、たばこの不始末など、普段の生活の中での油断や不注意により発生しています。
火の使用や電化製品の点検など、住宅火災の予防対策について再確認をお願いします。



式部さくら分団

越前市消防団式部さくら分団は、来る10月21日に、東京で開催される第25回全国女性消防操法大会に出場することになりました。

以下、最近の活動状況について、主だったものを簡単に記します。

7月7日
式部さくら分団会議を開催して、その中で選手一人一人が決意表明をおこない、サポート隊もすっかり応援することを確認しました。

出陣準備整う

これで式部さくら分団は一致団結、準備が整いました。



7月22日
本訓練開始に伴い、これまで暗い中、中消防署で行っていた訓練を、本番と同じ設定で実施。明るさと距離の長さ、選手により緊張となりました。

本大会まで残りわずか。さらなる高みを目指してがんばります。

式部さくら分団広報 竹内

特別教育 原子力発電と地域防災



9月3日(日)に、越前市消防団の特別教育が、越前市アイシンスポーツアリーナのメインアリーナにおいて実施されました。この教育は、同消防団活性化推進委員会強化部が企画運営し、消防団の士気の高揚と融和協調並びに消防技術の向上を目的としているものです。

今年度は、原子力災害時に予防的防護措置を準備する区域(U P Z)内の消防団員として、総勢220名が参加し、国内・県内の原子力発電所の状況、敦賀発電所の近況、原子力発電の仕組みと放射線、事故が起きた場合の対応、原子力災害時における越前市消防団の業務等について学びました。

白山分団広報 加藤

編集後記

越前市消防団に、「式部さくら分団」が発足してから、早8年。そんな式部さくら分団には、今年大きな変化が！それは、こちらの広報紙にも多数掲載していますが、来る10月21日に、東京で開催される第25回全国女性消防操法大会に出場させていただくからです。私たちは全国大会出場というきっかけにより、OBの方々、他分団の方々、署員の方々に、支えられていることを実感しながら、訓練を行なっています。

それからもう一つ、今年度から、活性化推進委員会広報部に、2名の団員が部員として参加させていただくことになりました。私たち分団の活動をしっかりと報告していきます。

式部さくら分団をこれからもよろしくお願います。

式部さくら分団広報 近藤

行事のお知らせ

- 10月21日(土) 第25回全国女性消防操法大会
- 東京臨海広域防災公園(東京都)
- 11月19日(日) 南越消防総合訓練
- 武生中央公園付近一帯
- 12月29日(金)、30日(土) 年末特別警戒
- 1月7日(日) 令和6年越前市消防出初式
- 越前市アイシンスポーツアリーナ付近一帯



私は災害から
家族と市民を守ります！

消防団は
地域防災の要です



消防団は女性・学生・若者の団員を募集しています

消防団に興味のある方は、地元の消防団員に、または消防署までご連絡ください。

中消防署 越前市千福町 126 Tel.21-8899 東消防署 越前市西椋尾町 18-7-2 Tel.43-0119